企業・団体名（　南信州菓子工房株式会社　）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	就業規則、賃金規程、人事評価制度その他、諸制度･諸規定を以って雇用に関するすべての件で差別がないようにしている。年2回の個人面談(目標設定･自己評価)を実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	就業規則に罰則を伴ってハラスメント禁止を明記し、人事課に｢相談員｣を常設し、随時個別相談に応じ、｢意見箱｣を置き相談が社長に直結する仕組みを構築している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	36協定、1年間変形労働時間制に基づく労使間協定の枠内での就労と月間40時間(法定45時間)残業を上限とする自社基準を設けて、超過勤務の抑制に取り組んでいる。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	外国人労働者に対して、邦人と同一就業規則、同一賃金テーブルで契約する一方で、各人に低廉な家賃で一人一部屋という個室生活空間を提供している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	産業医による定期的な巡回パトロールを実施し、月例で安全衛生会議を開催し、問題のある労働環境の把握から解決まで、一貫して対策している。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	定期に専門機関によるストレスチェックを実施し、当該実施内容については、産業医に報告し、適時･適切に指導を受ける態勢にある。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	多様な人材の確保については、障害者雇用の受け入れ、障害者団体への外注、あるいは65歳定年制に加え70歳まで嘱託による雇用延長を図っている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	会社が指名する社員に対して外部講習による受講機会を提供している。また、当社独自の｢経営計画書｣の読み合わせ等を通じて、教育訓練の機会を提供している。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	正社員、パートタイマーともに一本化された同一賃金テーブルを適用している。賃金の差は人事評価制度による従業員の職責、管理その他の能力等の差によるものである。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	インフルエンザ予防接種費用の会社全額負担や勤労者共済会への全員加入(会費全額会社負担)による、人間ドック負担金の一部補助などの諸制度を運用している。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	製造工程で排出される菓子屑や原料果物の皮･種などは産業廃棄物として適法に廃棄され、かつ、工場排水は基準値内にて、河川または下水に適切に廃棄している。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	エコアクション21の認証取得の準備段階から取得後の認証維持に至る過程で、エネルギー使用量の見える化＝数値化し、全社で意識の啓蒙や削減に取り組んでいる。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	電気使用量よりCO_2排出量を把握して、この削減に取組んでいる。更に、製造工程で排出される廃棄物、排水は再生可能エネルギーへの転換を前提とした設備をしており、メタンガスボイラーや電気エネルギーとして再利用されている。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	当社の食品製造工程では有害化学物質は一切使用することがなく、したがって非該当である。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	工場で使用した排水は、排水基準を十分下回った値に管理して排水している。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	原料果実は生食用で流通できないサイズ･形状のものを有効利用し、また廃棄される有機物を再利用してエネルギーを取り出し、エネルギーサイクルに再投入している。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	工場の生産工程で使用される水資源を浄化して、河川に戻したり、今後の予定として下水道に戻したりして、水資源の使用量と効率的な利用に取り組んでいる。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	2018年に環境マネージメントシステム「エコアクション21」の認証を取得し、以降当システムに基づいて継続的に活動している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	「エコアクション21」に基づく情報がマネージメントシステムの機能として「環境活動報告書」を作成し、適切に一般開示している。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	工場屋根に太陽光パネルを設け売電し、また工場排水処理過程で発生するメタンガスからエネルギーを取り出し、ボイラー熱源とし、または発電機の動力源とする予定である。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	当社の主要商品であるドライフルーツの原料として、天然資源を活用して作られる農産物を材料として利用している。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	当社の就業規則上に、あらゆる違法行為は罰則を伴って禁止されていることが謳われ、社員に周知されている。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	当社の就業規則および経営計画書に違法行為の禁止、コンプライアンスの遵守および社内通報規程を設けて、制度と教育の両面から周知を図っている。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	技術面では特許の取得、商標については、商標登録により保護されている。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	外部情報（顧客）と内部情報（社員とその家族）に関する情報は、前者は通販システムの提供会社により、後者は社内LAN上の機密情報として、それぞれ管理されている。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	当社の食品製造工程で「紛争鉱物」は一切使用することがなく、したがって非該当である。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	サプライヤーチェーンとは基本契約と相互の信頼関係に基づいて、それら認識の下で相互に管理し、管理され、企業活動に取り組んでいる。特定取引先においては定期監査の実施、受入、合格を条件に事業継続する場合がある。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	食品安全マネージメントシステムであるFSSC22000認証を取得し、維持している。本社工場から阿南工場、鹿児島工場へと認証の幅を広げる計画である。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	当社製品の個々のパーッケージには「お客様窓口」としてフリーダイヤルを公開しており、お客様からのクレームやご質問、ご提案などに対して専門スタッフが個々に、口頭あるいは文書で対応している。また、それらの情報は社内で共有し、再発防止や製品づくりの励みとしている。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	規格外として廃棄されてしまう農作物の有効活用であり、今後さらに、有機原料果実･野菜の活用、無糖ドライフルーツ、低糖度ドライフルーツなど、新機軸のドライフルーツ製品分野開拓に取り組み、その一部は特許出願を予定する。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	遊休荒廃地を集積して農場とする取り組みをはじめとして、就農者の老齢化、担い手不足を解決する第一歩として大分県佐伯市にレモン栽培（面積約10ha）で企業参入した。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	地域貢献・社会貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	長野県が推進する1村1自然エネルギープロジェクトに登録した。（長野県指令元環エ第235号の1）				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	工場所在の市町村における商工団体への加入、地域の祭事、周辺住民から工場見学への希望受入、近在の小中高校生の工場見学・社会学習補助などに取り組んでいる。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	原料果実として長野県産の利活用にこだわった製品開発を進めており、全国流通はもちろん、県内流通に重点化した商品構成に心がけている。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	2020年1月1日付で当社「企業理念」と「経営計画書」を策定。初期研修や社員教育などに活用している。従業員は「企業理念」を記したカードを携帯している。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	当社就業規則および自社制定の「経営計画書」に当然の服務として法令遵守が謳われており、違反した場合には罰則を伴って厳正に処分する。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	組織管理規程を設け、別途、職務権限と職務分掌が規定されている。その他に社長特命のタスクフォースを構成するなど、事案の緊急性・重要性に応じて臨機に対応する。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	当社企業理念「皆さまに喜ばれる会社になろう」に掲げる「皆さま」とは、消費者、社員、取引先（販売先、仕入先）など全てを含んだ社会全体のことであり、対応をしている。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	原料果実の安定確保のために、農産品複数産地との提携、自社農園経営の事業化などで具体化している。安心・安全な「美味しいお菓子」を提供し続けることが、最大のリスク回避たるリスクマネージメントとなる。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	企業の社会的責任の1つとして、企業の「発展性／先進性」、「技術力」、「生産方法」、「市場性」などが挙げられる。当社のセミドライタイプドライフルーツは「NAGANOものづくりエクセレンス2020」の認定を受けた。（認定2020-06）																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	FSSC22000認証におけるマネージメントシステムの中でBCPは要求事項の1つである。また、特定の取引先によるCoC（取引行動規範）監査の要求事項の1つでもある。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	当社は事業承継の段階になく、該当しない。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
2012年の創業以来、女性が働く現場を提供し、ここに大勢の女性が働いている。高校や短大・大学を卒業して入社し、結婚し、子供が生まれ、産休中の従業員や子育てをしながら復職を希望する女性従業員も大勢いるようになり、子育てしながら働きやすい、出産後も復職しやすい職場環境づくりを行っている。	産休や育児休業の制度は就業規則に謳われているが、実際に、それらが利用しやすい、子育てが済んだら復帰しやすい、職場環境づくり、雰囲気づくりに努めている。					5.1 5.4			8.5		10.2 10.3							

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）